

編集後記

今号の原稿は、最初に三原菜奈海他論文が届きました。その原稿を読んでいたら、私の中から賞賛の「ことば」が湧き出て止まらなくなっていました。

続いて、江草千春論文が投稿されました。江草は「定時制高校の英語教育」をテーマにして、これまでに多くの実践研究を重ねてくれています。私は、江草の研究に対しても、三原他論文に対してもったようなリスペクトを感じました。そして、三原他論文・江草論文に感じた思いを「ことば」にしてちゃんとまとめておきたいと思いました。

その作業を始めたら、通常の「編集後記」には納まりきらない質と量のノートができてしまいました。それを「研究ノート」として25号に掲載させてもらいました。結局、看図アプローチの実践・研究に力を貸していただいているみなさま方全員に対する「感謝のことば」として、私の研究ノートはまとまりました。これからも「全国看図アプローチ研究会」はひとつのチームとして社会に貢献できる実践・研究活動を継続していくことと思います。引き続きのお力添えをよろしくお願いいたします。

＜表紙を読み解く＞

表紙の花は「イモータル」。ちょうど今の季節、6～8月に花を咲かせます。イモータルの大きな特徴は、いつまでも「みずみずしさ」を失わないことです。表紙写真はドライフラワーにしたものですが、それでも「強い生命力」を感じさせてくれます。

本研究誌も今号で25号になります。看図アプローチの「みずみずしさ」「しなやかさ」を伝える媒体として育てていきたいと思っています。「イモータル」には「不滅」という意味もあります。

文責 鹿内信善

全国看図アプローチ研究会研究誌 25 号

発行年月日 2025 年 7 月 27 日

編 集 「全国看図アプローチ研究会研究誌」編集委員会

石田 ゆき

伊藤 公紀

溝上 広樹

織田 千賀子

鹿内 信善 *

山下 雅佳実

渡辺 聡

(* 印は編集代表)



発 行 全国看図アプローチ研究会

kanzu-approach.com

事務局長・編集長・DTP・表紙デザイン 石田ゆき